

わがまち宗像

宗像支部 松尾 理恵＊

私は平成 15 年 4 月から宗像土木事務所に勤務しています。宗像土木事務所（宗像総合庁舎内）は JR 東郷駅から徒歩 20 分のところにあり、宗像市役所や宗像警察署と隣接しています。そして、県立宗像高校もすぐ近くに 있습니다。この宗像高校（略して宗高：むなこう）というのが、私が十数年前にセーラー服を着て通った懐かしの母校なのです。まさか作業服を着て戻ってくるとは… 当時の私には想像すらつきませんでした。

さて、そんな私が宗像土木で現在何をやっているかということ、道路課維持係で文字どおり道路の維持に関する仕事をしています。また、交通安全に関する仕事もしています。地元ということで、現場で同級生にばったり会ったり、地元区長さんが友達のお父さんだったりということもあります。そういった私の仕事の中で、道の駅の整備というものがあります。「道の駅」というのはご存じの方ばかりだと思いますが、道路利用者の休憩施設と市町村等の地域振興施設を一体的に整備するもので、ドライバーへの多様な休憩サービスの提供を図るとともに地域の情報発信と交流の拠点形成、地域連携を図ることを目的としたものです。言い換えると 24 時間誰でも利用できるトイレ、駐車場等があり、道路や地域の情報を提供する施設があり、そして観光物産館のような地域の特色を生かした様々なサービスを提供しているのが「道の駅」です。

「道の駅」は国土交通省に登録申請し、道の駅としての機能が整備されているかどうか審査を受けた後に道の駅として登録されます。道の駅に登録されると、地図等に掲載されいろいろな形で紹介されます。

道の駅の整備方法はいくつかありまして、今回私が担当しているものは宗像市と、道路管理者である宗像土木事務所とが一体で整備をおこないます。場所は国道 495 号沿い、宗像市江口の釣川河口、皐月橋という橋梁の右岸側で「(仮称) 道の駅むなかた」として平成 20 年 4 月オープンを目指して整備しています。

宗像土木事務所が担当するのは駐車場、トイレ、休憩所の整備と道路情報を提供する施設の整備です。道の駅の施設については全部バリアフリー対応で計画しています。現在は敷地造成工事を行っており、併せて建物等の詳細設計を行っています。

九州内には道の駅が 90 駅以上登録されており、今年度も新たにいくつかオープンするものがあります。福岡県内には現在 9 つあり、私もこの事業を担当する以前からいくつか利用したことがあるのですが、それぞれの道の駅で様々な特色を出しているのがわかります。

「(仮称) 道の駅むなかた」は漁業が特に盛んな宗像市・玄海地区の特色をいかした

ものを計画しており、場所も海岸に近く「さつき松原」という樹齢 200 年以上の黒松の並木が続く美しい松原に面したところにあるため、宗像の海を目で見て舌で味わうことのできる場所となる予定です。

さらに、福岡県の 2 つの百万都市である福岡市と北九州市を結び、かつ観光の動脈である国道 495 号においては数多くの観光・レクリエーション施設が存在しているにも関わらず、現在、道路利用者に対して道路情報発信、サービスが十分でないというところが、道の駅ができることにより道路利用者に対するサービス水準が向上されます。

また、国道 495 号においては皐月橋架け替え工事も行っており、道路そのものの安全性、利便性が向上されます。来年 4 月の道の駅オープン時には皐月橋はまだ工事中ですが、数年後には完成し、この玄海地区は大きく変わることになります。そして、きっと今以上にたくさんの人が集まり、活気ある場所となるでしょう。



宗像市内は道の駅ができる宗像市玄海地区をはじめ、いろいろなところで大きく変化しています。また、我が母校宗高も私が通っていた頃と比べると校舎が新しく建替わり、宗高に通う学生もだいぶスカートが短くなって、田舎くさが少しなくなってきた感じがします。より良くなってきたと思う反面、当時の懐かしい場所がどんどん変わっていくのは少しさびしい気がします。ただ、私が高校時代に過ごしたこの宗像市の変化に携われるということはとても嬉しく思っており、今後この街がどのように変わっていくか楽しみでもあります。そして宗高をはじめ、宗像市内に通う高校生や小中学生が将来、『あの頃はこうだったな…』と懐かしみながらこの街の変化に携わることがあればいいなと思っています。

最後に平成20年4月に『(仮称) 道の駅むなかた』オープンしますので、そのときはぜひお越しください。そしてわがまち宗像を楽しんでいってください。

*宗像土木事務所道路課維持係